

152 「野菜づくり 2」

野菜作りを始めて4年と少し経った。いろいろ教えてもらいながら、これまではほぼ順調に野菜を育てることができたが、昨年から今年の始めにかけ思ったようにいかず、少し野菜作りの意欲が失われた。

1つは、昨年サトイモの生育が悪く、ほとんど食べることができなかったこと。その原因は雨が極端に少なかったことで、サトイモには十分な水が欠かせないことを知った。雨の降らなかった真夏、時々バケツで水を撒いたが充分ではなかったようだ。

それと、昨年11月末に蒔いたソラマメの発芽が非常に悪かった。一昨年と同じ種を同じだけ蒔いたが、前年の5分の1ほどの発芽率で、思う存分食べた昨年に比べ今年は満足いかなかった。

さらに、2月中旬ポットに蒔いたトマトの種の発芽も極端に悪く、昨年の20分の1程度。仕方なくホームセンターで苗を買い畑に植えた。同じ種苗メーカーの種を蒔き、同じように栽培している積りだが、これだけ差が出るのは何故だろう？畑の先輩に訊くと、天候の影響だろうという。私ほどひどくなくても、やはり野菜の出来が悪いとのことだ。それでも長年の経験を活かし、工夫しながら野菜を作っている。

野菜作りは雑草との戦いというが、全くそのとおり。畑には全面に肥料が行きわたっているのに、雑草の伸びが早い。雑草は野菜の栄養分を奪い取るので、こまめに取る必要があるが、野菜より生命力が強くとにかく生育が早い。

野菜作りが思い通りいかなくなると、雑草取りも億劫になり、苗を植えるところだけ草を取り、他は長い間放置していた。すると一面雑草が伸び放題で、目を覆うばかりの状態になってしまった。

成長した雑草は根が深く、取るのも大変だし残った根からまた再生する。やはり、生えたらすぐ除去するのが鉄則である。雑草の対策として、マルチ（マルチフィルム）があり以前はやっていた。マルチは苗の部分だけ穴をあけ、他は黒いビニールで畝の表面を覆うので光が入らず雑草が生えない。やはり、基本は頻繁に畑に行き、こまめに雑草を取ることだ。

これまでジャガイモ、サトイモ、ネギ、ソラマメ、トマト、ナス、ハクサイ、ホウレンソウ、オクラなどの野菜を作ったが、できすぎて食べられないほど。それと分かったことは、野菜は意外と収穫のタイミングが難しいことだ。

ジャガイモ、サトイモ、ネギ、ハクサイなどは一度に収穫してしまうと保存が難しく、ついには食べられなくなってしまふ。また、オクラ、ソラマメは時期を逸するとたちまち固くまぶくなってしまふ。

無農薬野菜なので誰かに食べてもらいたいが、売っている野菜に比べ見栄えが悪くそれもできない。

昨年、自宅で発芽させたトマトの苗を全て畑に植えた。トマトは体にいいので、たくさん収穫したいと思ったため、収穫量は半端なかった。採ったトマト（大玉、中玉、ミニ）は、ひび割れたり形が悪かったりが多く人にあげることもできず、ほとんどトマトジュースにした。

今年は野菜の値上がりで、大玉トマトが1個100円は驚いた。今まで、普通に食べる野菜を“高い”と感じたことはなかったが、これからはそうもいかない。大変だが、自分で無農薬の野菜を育てるのがいいと思直した。野菜作りの楽しみは、

- (1)蒔いた種が発芽すること
- (2)少しずつ茎が伸び葉が大きくなっていくこと
- (3)花が咲き小さな実を結ぶこと

(4)実が大きく育ち食べられるようになること

初めの頃は、どれも新鮮な体験で驚きや感動することが多かった。勿論、食べられるようになるまでには、水やり、施肥、間引き、虫対策、動物被害対策、病害対策、風対策、草取りなどさまざまなことが必要である。そして、収穫を終えた野菜は種を残し、何事もなかったように枯れその命を終える。

「種」と「土」と「水」と「光」と「空気」があれば野菜は育つ。単純なことだけど何か不思議な感動を与えてくれる。

6月に入り、4年半前のカボチャと2年前のオクラの種を蒔くと1週間ほどで発芽した。カボチャの種はいただいたタネ。常温で保存していたのでどうかな?と思っていたが、発芽したのは嬉しかった。

このカボチャの種は「固定種」で、順調に育てば食べられるようになるはずである。オクラの種は「交配種」なので食べられるようになるかわからないが、いずれにせよ、何年か前の種が発芽するのは嬉しいことだ。



発芽したカボチャ



発芽したオクラ

野菜作りもしばらく経験すると、一度に収穫せず食べる分だけ少しずつ採ることや、植える苗もあまり欲張らず適当な数にするなど、徐々に賢く合理的にできるようになり、一段ステップが上がったように思う。異常気象でさまざまな難しさがあると思うが、これからも楽しみながら野菜を育てていきたい。

(2024, 06, 13)